

基調講演

第二言語の学習メカニズムから 教師の役割を考える — 教室指導の効果と学習者の個人差 —

おうようげんごがく

応用言語学には、Instructed Second Language Acquisition (ISLA) という

教室学習者を念頭においた習得研究の分野があり、学習者の頭の中で起きている
にんちてきな

認知的なプロセスにどのように介入すれば、第二言語習得が促進されるかを
かいにゆう

探っています。前半では、認知的な学習メカニズム（＝注意や記憶）を紹介し、
だいにげんごしゅうとく そくしん

そのメカニズムを活性化する教室指導のあり方を考えます。
ちゅうい きおく しょうかい

また、認知的な学習メカニズムには記憶が大きく関わっているので、認知的な
かっせいか しどう

プロセスは普遍的であると同時に、個人差をも生み出します。そこで、後半は、
にんちてき きおく かか にんちてき

学習者の個人差を見ていきます。大人のISLAに最も影響する個人差要因は
ふへんてき どうじ こじん さ うだ こうはん

言語適性と動機づけです。記憶の機能や容量は言語適性につながりますし、
こじん さ もっと えいきょう こじんさよういん

達成感を味わった時の脳の快感が、情意的な記憶である動機づけの源だとも
げんごてきせい どうき きおく きのう ようりょう げんごてきせい

言えます。学習者の個人差に合わせて教師ができることも考えていきます。
たっせいかん あじ のう かいかん じょういてき きおく どうき みなもと

講演者プロフィール



小柳かおる氏

上智大学言語教育研究センター／大学院言語科学研究科教授。米ジョージタウン大学言語学博士（Ph.D）。2018年9月より1年フランス国立東洋言語文化大学（INALCO）日本学研究センター特別招聘研究員。著書に『第二言語習得について日本語教師が知っておくべきこと』（単著，くろしお出版）『日本語教師のための新しい言語習得概論』（単著，スリーエーネットワーク）『第二言語習得の普遍性と個性』（共著，くろしお出版）等。